



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 I - n e 上場取引所 東  
コード番号 4933 URL https://i-ne.co.jp/  
代表者（役職名） 代表取締役社長 CEO（氏名） 大西 洋平  
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員 CFO（氏名） 原 義典（TEL）06-6443-0881  
半期報告書提出予定日 2024年8月9日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（ 機関投資家・アナリスト向け ）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	20,311	4.1	2,034	6.0	2,143	12.0	1,241	△58.8
2023年12月期中間期	19,517	20.5	1,919	0.6	1,913	△7.0	3,012	161.9

（注）包括利益 2024年12月期中間期 1,134百万円（△62.3%） 2023年12月期中間期 3,006百万円（153.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	70.16	68.88
2023年12月期中間期	171.44	166.26

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	21,172	14,767	69.5
2023年12月期	22,908	14,331	62.4

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 14,714百万円 2023年12月期 14,291百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	45,800	10.0	4,600	5.0	4,550	4.9	2,400	△39.3	135.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社(社名) I-ne US Co.,Ltd. 、除外 -社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	17,784,270株	2023年12月期	17,771,240株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	299,553株	2023年12月期	158株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	17,697,271株	2023年12月期中間期	17,570,037株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当中間期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明 .....	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
中間連結損益計算書 .....	7
中間連結包括利益計算書 .....	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあり、回復基調にあります。一方で、不安定な国際情勢を背景とする原材料価格の高止まりは継続しており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があると、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは「We are Social Beauty Innovators for Chain of Happiness 私たちは、“美しく革新的な方法”で、“幸せの連鎖”があふれる社会の実現に挑戦し続けます。」をMISSIONに掲げ、「ブランド創出力」「OMO」「IPTOS」を強みとして、独自の商品・ブランド開発モデルによって、積極的な新商品開発、マーケティング、市場開拓、海外展開を進めてまいりました。

また、当社グループは、持続可能な社会を実現することを目的とした様々な取り組みを行っております。2023年3月に設立した「一般財団法人BOTANIST財団」では、2024年6月に、財団の目的や想いに共感してくださる団体と協働し、環境保全と自然体験機会の創出に共に取り組む「一般財団法人BOTANIST財団 助成プログラム」を開始しました。今後も事業とESG推進を両立し、事業活動を通じて環境や社会に対してより良い影響を与えるような活動に引き続き取り組んでまいります。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (国内事業)

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品の日本国内の卸売事業者を通じた小売店及び量販店運営事業者への卸売販売、インターネットを活用した日本国内の一般消費者への直接販売であります。

国内事業では、持続的な成長に向けて、当社が強みを持つヘアケア系、美容家電、スキンケア他のカテゴリーの継続的な投資及び新たなトレンド発掘に注力しました。

BOTANISTブランドにおいては、2024年5月に、厳選した香りの「フレグランスコレクションシリーズ」より、夏限定商品「アイスピーチティーの香り」を発売しました。本体ボトルには環境に配慮したバイオマス容器を採用するとともに、アップサイクル原料である国産ピーチを配合し、貴重な成分を無駄にすることなく活用しております。また、同年6月に「ボタニカルボディークリーム」がZOCOSME AWARDS 2024 上半期 カテゴリー大賞を初受賞しました。

SALONIAブランドにおいては、2023年10月に発売開始した高機能プレミアムラインの第2弾として、「スムーズシャインドライヤー」を2024年6月に発売しました。また、ピュアブライトスチーマーやEMSリフトブラシなどにおいても、積極的なマーケティング投資により好調に推移し、売上高の伸長に寄与しました。

ナイトケアビューティーブランドYOLUは、2024年5月に初の夏限定品である「ナイトチュベローズシリーズ」を発売しました。定番品「カームナイトトリペアシリーズ」を筆頭に複数商品の成長を継続させ、売上高の伸長に寄与しました。また、ナイトトリペアシャンプー&トリートメントセット（カーム/リラックス）・ナイトトリペアヘアマスク（カーム/リラックス）の2製品において、同年6月にZOCOSME AWARDS 2024 上半期 カテゴリー大賞を初受賞しました。

以上のことから、当中間連結会計期間の売上高は19,631百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は3,743百万円（前年同期比26.9%増）となりました。

## (海外事業)

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品のインターネットを活用した海外の一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット販売事業者、販売代理事業者、美容専門店、ドラッグストアへの卸売販売であります。

中国においてはアリババグループの越境ECであるTmall Global(天猫国際)や、ライブコマース施策を通じたBOTANISTブランド及びYOLUブランドの販売に取り組み、香港、台湾、東南アジアにおいては同国内に多数の店舗が展開されている化粧品・コスメショップ・小売店での販売に継続的に取り組みました。

艾恩伊(上海)化粧品有限公司においては、Tmall.com(天猫)やDouyin(抖音)といったプラットフォームを活用したオンラインでの販売にて、BOTANISTブランド及びSALONIAブランドの販売に取り組みました。

以上のことから、当中間連結会計期間の売上高は679百万円(前年同期比22.5%増)、営業損失は474百万円(前年同期は営業損失235百万円)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は20,311百万円(前年同期比4.1%増)となりました。また、営業利益は2,034百万円(前年同期比6.0%増)、経常利益は2,143百万円(前年同期比12.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,241百万円(前年同期比58.8%減、前年同期は関係会社株式売却益2,992百万円の特別利益計上)となりました。

## (2)財政状態に関する説明

## (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は、18,517百万円となり、前連結会計年度末よりも1,713百万円減少いたしました。その主な内訳は、商品が384百万円、売掛金が249百万円、前渡金が193百万円それぞれ増加したことに対し、現金及び預金が3,080百万円減少したことによるものです。

## (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産は、2,654百万円となり、前連結会計年度末よりも22百万円減少いたしました。その主な内訳は、有形固定資産が172百万円増加したことに対し、無形固定資産が100百万円、投資その他の資産が93百万円それぞれ減少したことによるものです。

## (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は、6,360百万円となり、前連結会計年度末よりも2,152百万円減少いたしました。その主な内訳は、買掛金が570百万円増加したことに対し、未払法人税等が1,572百万円、返金負債が343百万円、未払金が324百万円それぞれ減少したことによるものです。

## (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債は、43百万円となり、前連結会計年度末よりも19百万円減少いたしました。その主な内訳は、長期借入金が20百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、14,767百万円となり、前連結会計年度末よりも436百万円増加いたしました。その主な内訳は、親会社株主に帰属する中間純利益1,241百万円及び剰余金の配当231百万円により利益剰余金が1,010百万円、自己株式の取得により自己株式が493百万円それぞれ増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)につきましては、前連結会計年度末に比べ3,108百万円減少し、5,242百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は1,525百万円(前年同期は530百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,098百万円、法人税等の支払額2,272百万円、未収又は未払消費税等の増減額583百万円、仕入債務の増加額552百万円、棚卸資産の増加額375百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は847百万円(前年同期は2,797百万円の獲得)となりました。これは主に、貸付による支出500百万円、有形固定資産の取得による支出277百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は744百万円(前年同期は103百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出494百万円、配当金の支払額230百万円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月9日付「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後、業績予想の修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,988	5,908
売掛金	6,800	7,050
商品	2,710	3,094
原材料及び貯蔵品	229	220
前渡金	1,282	1,475
その他	224	772
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	20,231	18,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	248	250
減価償却累計額	△123	△147
建物及び構築物 (純額)	125	102
機械装置及び運搬具	1	1
減価償却累計額	△1	△1
機械装置及び運搬具 (純額)	0	0
工具、器具及び備品	365	466
減価償却累計額	△286	△348
工具、器具及び備品 (純額)	79	118
リース資産	9	-
減価償却累計額	△9	-
リース資産 (純額)	-	-
その他	-	156
有形固定資産合計	204	377
無形固定資産		
商標権	981	923
その他	289	246
無形固定資産合計	1,270	1,169
投資その他の資産		
繰延税金資産	822	717
その他	378	389
投資その他の資産合計	1,201	1,107
固定資産合計	2,676	2,654
資産合計	22,908	21,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,927	2,498
電子記録債務	49	31
1年内返済予定の長期借入金	39	40
未払金	2,266	1,942
未払法人税等	2,437	864
返金負債	666	322
賞与引当金	232	286
その他	894	374
流動負債合計	8,513	6,360
固定負債		
長期借入金	20	-
資産除去債務	43	43
固定負債合計	63	43
負債合計	8,577	6,404
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,299	3,304
資本剰余金	2,858	2,865
利益剰余金	8,135	9,146
自己株式	△0	△493
株主資本合計	14,293	14,823
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1	△108
その他の包括利益累計額合計	△1	△108
新株予約権	39	53
純資産合計	14,331	14,767
負債純資産合計	22,908	21,172

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	19,517	20,311
売上原価	9,330	9,443
売上総利益	10,186	10,867
販売費及び一般管理費	8,267	8,833
営業利益	1,919	2,034
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	1
業務受託料	20	1
受取補償金	0	1
為替差益	18	122
その他	1	0
営業外収益合計	41	127
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	4	0
持分法による投資損失	42	-
支払補償費	-	18
その他	0	0
営業外費用合計	47	19
経常利益	1,913	2,143
特別利益		
関係会社株式売却益	2,992	-
新株予約権戻入益	-	0
特別利益合計	2,992	0
特別損失		
固定資産除却損	-	8
本社移転費用	-	37
特別損失合計	-	45
税金等調整前中間純利益	4,906	2,098
法人税、住民税及び事業税	1,948	751
法人税等調整額	△54	105
法人税等合計	1,893	856
中間純利益	3,012	1,241
親会社株主に帰属する中間純利益	3,012	1,241

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,012	1,241
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	9	-
為替換算調整勘定	△15	△107
その他の包括利益合計	△5	△107
中間包括利益	3,006	1,134
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,006	1,134

## (3)中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	4,906	2,098
減価償却費	147	176
株式報酬費用	15	26
本社移転費用	-	37
支払手数料	4	0
持分法による投資損益(△は益)	42	-
関係会社株式売却損益(△は益)	△2,992	-
固定資産除却損	-	8
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	54
返金負債の増減額(△は減少)	△72	△343
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	0	0
為替差損益(△は益)	△17	△108
売上債権の増減額(△は増加)	△306	△249
棚卸資産の増減額(△は増加)	△273	△375
仕入債務の増減額(△は減少)	△220	552
前払費用の増減額(△は増加)	25	△13
未払又は未収消費税等の増減額	162	△583
未払金の増減額(△は減少)	△398	△295
前渡金の増減額(△は増加)	△444	△193
その他	△143	△44
小計	436	746
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△966	△2,272
営業活動によるキャッシュ・フロー	△530	△1,525
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△38	△28
貸付けによる支出	-	△500
出資金の払込による支出	△20	△10
関係会社株式の売却による収入	2,992	-
有形固定資産の取得による支出	△37	△277
無形固定資産の取得による支出	△91	△30
敷金の差入による支出	△8	△1
その他	-	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,797	△847
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△110	△19
リース債務の返済による支出	△0	-
株式の発行による収入	7	0
自己株式の取得による支出	-	△494
配当金の支払額	-	△230
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103	△744
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,170	△3,108
現金及び現金同等物の期首残高	4,799	8,350
現金及び現金同等物の中間期末残高	*1 6,970	*1 5,242

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2024年3月1日 臨時取締役会	普通株式	利益剰余金	231	13	2023年12月31日	2024年3月11日

## 2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行っております。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が494百万円増加し、当中間連結会計期間末において自己株式が493百万円となっております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
現金及び預金勘定	7,693百万円	5,908百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	△723 "	△666 "
現金及び現金同等物	6,970百万円	5,242百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	18,961	555	19,517	—	19,517
外部顧客への売上高	18,961	555	19,517	—	19,517
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,961	555	19,517	—	19,517
セグメント利益又は損失 (△)	2,949	△235	2,714	△795	1,919

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△795百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△795百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	19,631	679	20,311	—	20,311
外部顧客への売上高	19,631	679	20,311	—	20,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,631	679	20,311	—	20,311
セグメント利益又は損失 (△)	3,743	△474	3,268	△1,233	2,034

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,233百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,233百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。